

今求められる 建設工事の効率化による 働き方改革の実現とは

働 き 方 改 革 の 実 現 に 向 け た

効 率 的 な 建 設 工 事 の 促 進 事 業

取り組み事例

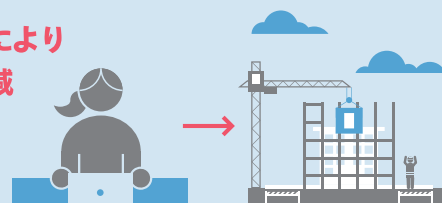
現場 ICT

デジタルデータの
活用で業務全体を
効率化する



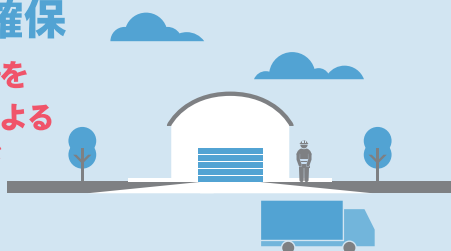
機能配置の見直し

遠隔サポートにより
工数を大幅削減



スペース確保

現場外に作業場を
確保することによる
作業時間および
運搬の効率化



バックオフィス系システム

書類管理業務の
削減による負担削減



事業概要

建設業者は、社会資本の担い手であり、災害時には地域社会の安全を守る重要な役割を果たしています。しかし、若い世代の入職が進まず、就業者の減少が続いています。建設業が魅力ある産業であり続けるためには、働き方改革や生産性向上の実現が必須です。また、令和6年4月から罰則付き時間外労働上限規制が適用され、建設工事現場の効率化も必要です。国土交通省では効率的な建設工事の実現に向けた取り組みを実施し、その成果を事例集として取りまとめました。事例の詳細はWEBサイトをご覧ください。



モデル事業の詳細はこちら